

技術講習会

三次元形状を測る

～3次元スキャン装置・非接触3D形状測定器・X線CTスキャナ～

地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センターでは、所有している試験研究機器等を用いて、企業の皆様の新技術・新製品の開発や品質管理のお手伝いをさせていただいております。これら試験研究機器の利用可能範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

◆日 時：令和2年3月4日(水) 14:20～16:20

(バスでお越しの場合、13:54に和泉中央駅を出発するバスで間に合います。)

◆場 所：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター (和泉市あゆみ野2-7-1)

当日は、講習開始時刻までに当研究所の玄関ホール 講習会受付にて、受付をお済ませください。担当者が講習会場にご案内します。(受付は講習会開始時間の10分前より始めます。)

◆定 員：6名 参加人数は1社2名まで

※ 受講票は発行いたしません。返信で受付をお知らせします。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 顧客サービス部

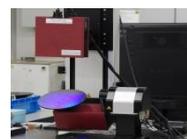
※ お申込みは、メール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2520) でお願います。

◆対象機器

製品等の三次元形状を測定・評価する装置には様々な機種があります。当所にもそのための複数の機器が設置されていますが、目的や測定対象物によって適切な機種を選択しないと要求される内容の結果が得られません。本講習では、これらの機器について概略をご紹介します、その特徴や得意とする対象物をご説明します。よりの確な測定を行うための機器選択の一助となればと思います。今回取り扱う機器は下記の通りです。

・3次元スキャン装置 (ATOS Core 80/200/300)

対象物に平行縞を投影し、その縞の変形状況を撮影して三次元形状データを取得する装置です。データをつなぎ合わせることで、大きな対象物の測定も可能です。



3次元スキャン装置

・非接触3D形状測定器 (ワンショット3D形状測定機 VR-3200)

上の装置と同じように対象物に縞を投影して形状データを取得する装置です。高い分解能での測定が可能です。



非接触3D形状測定器

・X線CTスキャナ (TOSCANER-32300μFD)

本来、非破壊で対象物内部の断層画像を取得する装置ですが、撮影データから三次元形状データを求めることができます。



X線CTスキャナ

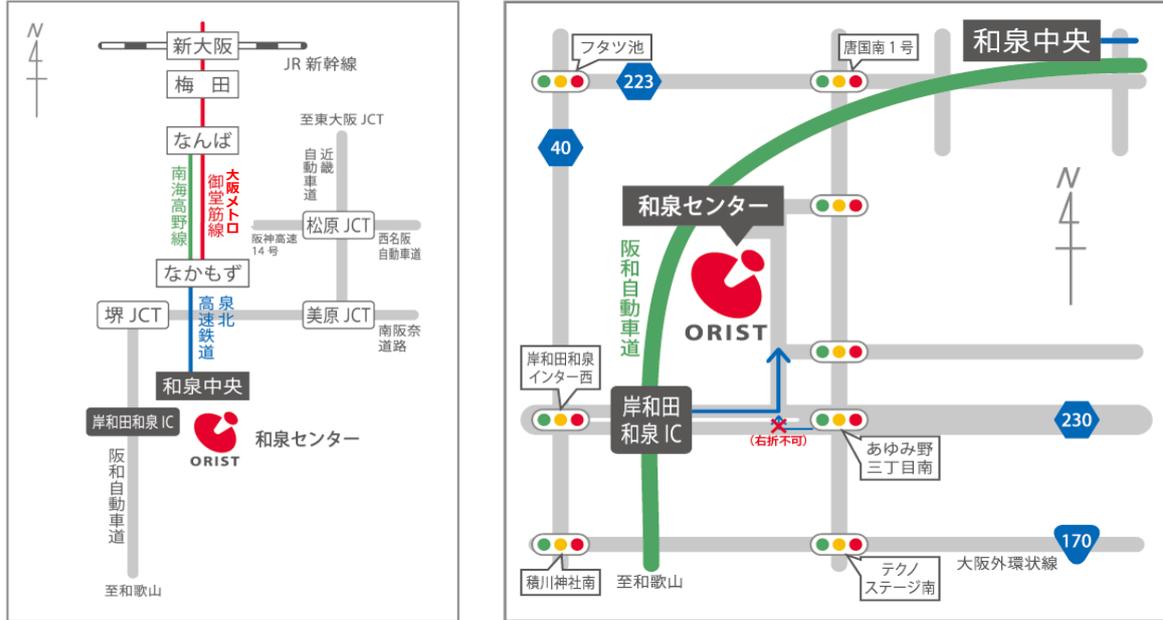
◆持込み試料について：本講習会では受講者による持込み試料の対応はいたしません。

◆講習担当：

(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 加工成形研究部 (足立和俊、柳田大祐、川村誠)

・お問い合わせ先：顧客サービス部 TEL：0725-51-2518

大阪産業技術研究所 和泉センター 交通案内図（略図）



和泉中央駅バス乗り場5番から
研究所方面へのバスが出ております
和泉中央駅発バス時刻
9時：7, 27分
10時：3, 34, 57分
11時：21, 54分
12時～15時：毎24, 54分

駐車場は、入口から入って左手に
あります。ご利用下さい。

「大阪技術研前」で下車して下さい

FAX 0725-51-2520

技術講習会 申込書 テーマ「三次元形状を測る ～3次元スキャン装置・ 非接触3D形状測定器・X線CTスキャナ～」

開催日：令和2年3月4日（水）

会社名	
所在地	(〒 -)
参加者	所属： 役職： 氏名： (K) 所属： 役職： 氏名： (K) 利用者カードをお持ちの方は、「K番号」のご記入もお願いします。
連絡先	TEL： FAX：
講習会の情報源	① Webページ ②メール配信 ③チラシ ④他機関の情報 ⑤その他()

※上記参加申込書に記載された内容につきましては、本講習会の参加者の集計及び下記の目的に使用させていただきます。

①お客様からの問い合わせへの対応、当研究所利用に関する手続きの案内など、お客様サポート。

②当研究所および関連団体の催事情報提供などの案内。

※ 講習会の申込状況の確認はこちら →<https://orist.jp/izumi/events/seminar/>

※ 講習会の案内など、当研究所の関連情報をお知らせする「ORIST EXPRESS 和泉センター版」の配信を新規にご希望の方はこちら →https://orist.jp/mail_magazine/magazine_izumi.html